

JAL闘争を支える京都の会News No.109

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX : 075-531-3856 E-mail : [komai123@kfa.biglobe.ne.jp](mailto:kamai123@kfa.biglobe.ne.jp)

現役客室乗務員が JHU(JAL 被解雇者労働 組合)に加入！

2024年9月24日、大手筋商店街（京都市伏見区）で、JAL不当解雇撤回争議勝利をめざす宣伝行動をおこないました。「JAL闘争を支える京都の会」が呼びかけ、「きょうとユニオン」、「なかもユニオン」、「自立労連」、「合同繊維労組」、「米軍Xバンドレーダ一基地反対・京都連絡会」の皆さんなど、残暑の中でしたが計15人にご参加いただきました。今回の宣伝行動にはJAL客乗争議団の神瀬麻里子さんが参加しました。

神瀬さんは以下のように訴えました。「私はJAL日本航空に入社して33年間客室乗務員として飛行機に乗っていたが、14年前の大晦日に164名の仲間とともに解雇になった。解雇された165名はパイロットと客室乗務員であった。経験20年、30年を超えるベテランばかりであった。ここ大手筋商店街では『JAL闘争を支える京都の会』の皆さんがこの解雇問題をすぐに解決しなければならないということで、毎月ここで宣伝をおこなってくださっている。ここが私たち165名を解雇した責任者、当時のJALの会長である稲盛和夫さんの地元だからである。私たちはJALの外で闘っているが、なかなかテレビや新聞でこのことが取り上げられることはない。だから全国の街頭でこの問題を訴えている。先月8月の大手筋での宣伝から1ヵ月経った。この1ヵ月の間に起こったことを4つご紹介したい。1つは私たち被解雇者労働組合、35名でがんばっているが、そこに現役の客室乗務員が加入してくれたということである。彼女はJALの安全そして労働条件を守るためには、まずこの解雇争議を解決しなければならない、その力の一つになりたいということで8月に加入を決めた。そして二つ目は9月17日に外国特派員協会というところで初めての記者会見をおこなった。外国特派員協会はこれまで様々な問題を真正面から取り上げてくれているところ



である。その記者会見に新しく加入した現役の組合員も前に並び記者からの質問も受けてくれた。JALにとってはとてもいやなことだと思う。ますます私たちも力を受けて、これからも解雇撤回の問題の解決に向けてがんばっていききたい。そして3つ目であるがJALでは雇っても雇っても客室乗務員がやめていく。それは賃金が低い、労働条件が悪い、教えてくれる先輩がいない、この3つが原因である。大学時代の同級生が銀行に勤めているが、私より賃金がいい、こんな危険を伴う仕事をしているのに、これじゃやられてられない、そのような声も聞こえてくる。退職者が後を絶たない。年間500名から600名が退職をしていく。



JAL日本航空の客室乗務員は約7000人いるが、その内の10分の1が毎年やめていくということで、私たちが解雇されてからすでに6700人を採用している。しかし定年60才まで働けるにもかかわらず、なかなか勤続年数が伸びない。そしてこれを解決するためにJALはリファラル採用ということをはじめた。リファラル採用とは何かというと、JALの社内であなたの周りに客室乗務員になりたい人はいませんかと言って社員に推薦をさせる。そしてそ

の推薦された人が客室乗務員に採用されると10万円のお金がもらえるそうである。知り合いに推薦してもらって入社したらなかなかやめないだろう、これが今JALが考えている姑息な手段である。私たちCAをすぐに戻すことはできる。10万円はいらない。ますますこの解雇問題の矛盾があぶりだされてきたと思う。そしてもう一つは解雇された仲間が今35名でがんばっているが、その中にはパイロットもいる。解雇されたパイロットの中には、現在他のエアラインで働いている人もいる。その内の一人が春秋航空という航空会社で働いている。JALグループの会社である。JALグループの中の会社がJALが解雇したパイロットを雇う、私は不思議な話だと思う。春秋航空は最近スプリング・エアと名前を変えた。今JALはパイロット不足なので、スプリング・エアの飛行機がJAL便として中国方向にフライトをしている。だから彼はJALのIDカードを持ってフライトしている。そんなばかなことがあるだろうか。この8月に東京都労働委員会であっせんがあったが、リファラル採用とスプリング・エアのパイロットを報告して、今すぐJALに戻せばいいではないかと訴えたところ、



都労委の委員もびっくりして、JALはすすごと『私たちを元に戻せ』という提案を持ち帰ると言わざるを得なかった。この京都のような宣伝を全国でおこなっている。そしてJAL本社前、国土交通省前での宣伝もおこなっている。どんどんこのJALを追い詰める運動、その包囲網を小さくしていきたい。皆さん、ご協力ください。」と訴えました。

次回 宣伝行動	(呼びかけ JAL闘争を支える京都の会)
10月8日(火)	午後2時~3時 伏見・大手筋商店街